

登山報告書

(ひまわり山行部)

山域	野 岳 (雲仙)	実施日	2020/11/20(金)	(C L)	福岡 正廣
山名		天候	曇り	報告者	福岡 正廣

行程
 西諫早駅(9:00)―諫早駅裏(9:20)～池の原P(10:20)～仁田峠(11:00)～野岳山頂(11:30)～仁田峠(12:00)(昼食30分)～池の原P(13:10)～西諫早駅(14:20)
 (9:05) (10:10) (11:11) (11:50)(岩場20分)(12:50)(昼食20分) (14:13) (15:25)
 黒字計画) (赤字実績)

*出来るだけエスケープルートも計画しておく/報告書では実績時刻に修正して提出の事)

No	氏名	車	役割	乗車	No	氏名	車	役割	乗車
1	福岡 正廣 (車)	A	P L	西 駅	11				
2	高田 啓子	A	救 護	中尾町	12				
3	下釜ミツ子	A		米 庭	13				
4	林 孝子	A		中尾町	14				
5	大久保 瓢舟	A		西 駅	15				
6	金丸 勝 (車)	B	S L	西 駅	16				
7	田中 静香	B	会 計	西 駅	17				
8	中須賀 孝正	B		西 駅	18				
9	松岡 正樹	B	救 助	西 駅	19				
10					20				

携 帯 品	地 図	1/2.5万 雲 仙	団体装備	トランシーバ、救急薬 救助用タンカー
	個人装備		参加費	¥ 600 円
		ハイキング A, B, C による 弁当、行動食、非常食、水分 地形図・コンパス、レスキューカード、保険 証コピー、労山会員証、携帯電話	温泉	なし
			交通	マイカー
			留守本部	川原慶紀 090-5721-1641

経 費 明 細	収入 (参加費) 600×9=5,400	登山概要(概念図などは別紙とする) 池の原園地から仁田峠へ、舗装された急な坂道をしばらく進むと、階段状のジグザグの登山道になる、落葉が道一杯に広がって、絨毯のようで綺麗でした。広場には紅葉した木が少し残る。道の横には朽ち果てた鳥居の奥に弘法大師像が祀られていました。 紅葉も終わり仁田峠の駐車場には車が少ない、動くケーブルカーも寂しそうに見えた。野岳へはトイレの脇に標識あり、20分ほど行くと阿屋の野岳休憩所、吉田茂の歌碑有り。進むと登山口の標示板あり、赤いテープを確認しながら山頂へ2~3人しか立てないほど狭い、山頂から見る妙見岳と平成新山も素晴らしい。下山後は展望岩に行き、数名が登るが下りは安全を考えてザイルを使う。仁田峠に戻り昼食。池の原園地に全員無事に下山。
	支出 車代(普) 2,500×2=5,000 資料代 400 合計 5,400	
	5,400-5,400= 0	
	差額 基金へ 0 円	

- * 計画者は事務局長、責任者、留守本部者に計画書を事前に提出の事。また参加者にも極力事前に渡して置く事。
- * 会計は氏名欄にチェックを付けて出欠と入金を確認し、極力経費明細を帰着するまでに記入し計画者に渡す。
- * 計画者は実績行程&太枠内を追記し、報告書として事務局長と責任者に提出する(PCでの報告が望ましい)。